

Relationship

JTSU-E Shinagawa Mail News



JTSU-E 品川支部

JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION-SHINAGAWA

2021.11.26
NO.022

**労働組合の弱体化を目的とした強制配置転換を許すな！
本人希望に沿った異動、自発的な成長とその環境の整備の実現をめざし、
組織破壊攻撃に屈せず、仲間とともに決起する**

品川支部怒りの緊急集会を開催しました！

その②

系統を超えて、連帯のメッセージが続々と！

営業職場からのメッセージ

これほどわかりやすい組織破壊攻撃はない。組合が憎いあまり人を見ず、人同士のつながりを断つことだけを目的とした非人道的で非人間的な行いを絶対に許さない！自分の職場でも昨年に分会執行委員長が強制配置転換をさせられた。前分会長が退職されるタイミングだった。

今の会社は人を人として見ていない。誤った方向に進み、法律が赤信号を灯しても冒進する会社にモノを申せるのは私たち労働組合。その中でも分会執行委員長は職場での労働者の要。理由すら述べることができない不条理な強制配置転換・組織破壊攻撃にNOを叩きつけ、連帯しつながら続ける！

施設電気職場からのメッセージ

仮に私が林執行委員長と同じように懲罰されたら…林執行委員長と同じで生活や組合員などのことを考える。執行委員長に対して異動を懲罰する会社の行為は組織破壊だ。会社は異動によるリスクを全くわかっていない。

鉄道の職場はみんながイエスマンだと成り立たない。他会社で保線社員の触車事故があり、作業員が頭の近くを骨折。何故運転士は止まらなかったのか？そして作業員は「近い」という事に気づいていたが何故列車を止めさせなかったのか。このような職場にさせないためにも田町運転区分会と共にとたかう！

運転職場からのメッセージ①

職場では異動した28名中20名が組合員。組合員は全員希望外の異動。労組差別が色濃い。分会長を異動させることは攻撃の完成形態であり、しっかりはね返していく。

「新たなジョブローテーション」検証行動としてメッセージ行動を行った。「狙い撃ち」「素人集団をつくる」「会社も検証すべき」との声が出ている。この1年半で働きがいもなくなり、安全性とサービスが低下し、誇りが持てない。総対話では「分会長の異動は組織が壊されてしまう」と組合員から怒りの声が寄せられている。この怒りを原動力にし、共通の課題を持つ田町運転区分会と共にとたかっていく！

運転職場からのメッセージ②

私は自分の職場のため、そして分会執行委員長である私のためにたたかってくれていたのだと考えながら田町運転区分会のたたかいを見守ってきた。これから私たちのたたかいははじまる。何はともあれ、林執行委員長の倍返しのためにつくっていく！

**人権無視・安全軽視・経験労働の否定を前面に押し出した施策では
何も良い方向に進まむわけがない！！**

会社は即刻林執行委員長への発令を撤回するとともに、悪辣な施策運用をやめろ！！